

「リフォームプランおおよど」アクションプラン進捗管理状況表(平成19年度)

柱	アクションプラン	具体策	平成19年度実施内容(PLAN)	進捗率 (H20.3末)	計画通りの 進捗か (. . x)	現状及び今後の対応	17年度から19年度の総括 (実施できたこと)	担当課	関連課
5 住民参加	1 住民参加によるまちづくりの推進	1 住民参加の体系づくり	出前講座などの開催・啓発活動(平成19年10月～平成20年3月)	75%		出前講座の進捗状況を確認しつつ、メニューの充実などが必要。	出前講座要綱の制定	企画課	-
		2 住民参加型まちづくりの実践(協働)							
	2 積極的な情報の受発信及び共有	1 情報の提供	広報担当主任の任命(平成19年6月) 出前講座ガイドラインの策定(平成19年9月) パブリックコメント制度化(平成19年12月)	75%		出前講座については、平成20年4月から開始予定 その他は、未定	出前講座要綱の制定	企画課	-
		2 情報の収集							
		3 情報の共有							
	3 幅広い世代の参画検討	1 住民参加のための環境づくり	住民参加各課取組みの洗い出し(平成19年10月)	25%	x	ボランティア的なものは役場全体として増えつつあるが、協働のまちづくりに向けた総合的な計画が未整備である。	イベントアンケート共通フォームの作成 各種イベントの積極的な広報	企画課	-
2 各世代に応じた体験学習の充実									

リフォームプランおよびアクションプラン進捗管理シート

P L A N	柱	5	住民参加		
	アクションプラン	1	住民参加によるまちづくりの推進		
	具体策	1	住民参加の体系づくり		
		2	住民参加型まちづくりの実践（協働）		
	主管課	企画課		関連部局	
	実施済事項 （平成17・18年）	平成19年3月策定の「第3次大淀町総合計画」において「協働のまちづくりプロジェクト」を重点プロジェクトと位置づけた。			
	実施スケジュール	実施年度	実施内容（今後の重点取組目標・効果等）		具取組（時期等）
		平成19年度	総合計画に基づく地域自治計画を定めるべく進めていくが、長期的な展望に立たないと住民の理解を得るのは困難であるため、今年度は、なぜ協働のまちづくりが必要なのかの理解をもとめるため、出前講座のメニューの一つとして「協働のまちづくり」と題した講座を開催し、啓発活動を行う。		出前講座などの開催・啓発活動 （平成19年10月～平成20年3月）
	確認欄	主管課長	確認日	H19.5.12	【特記事項】（補足説明・用語説明） H19 啓発 H20 地域自治計画の策定に向けた協議 H21 各区域での地域自治計画の策定 など
		主管部長	確認日	H19.5.14	
総務課		確認日	H19.6.8		
D O	実施内容	協働のまちづくりの第1歩として、「まちづくり出前講座」を実施すべく出前講座要綱を制定する。（平成20年4月施行） 各課最低1つのメニューを用意することを考えているが、協働のまちづくりの視点からすると、特に協働のまちづくりについての講座や、財政状況についての講座を受けていただけるよう推進する。			
	効果	（効果は平成20年度の状況を見てからとなります。）			
C H E C K	達成度検証欄	内部評価	本部員評価 主管部長評価	コメント	住民参加全般に渡って今後も積極的な推進が必要と思われる。 出前講座が住民にとって有意義であり、コミュニケーションを交わすきっかけになることを期待する。要綱制定後は啓発活動を行うが、制度の定着を目指すには、多様化する住民ニーズに対応する講座数の充実を図る必要がある。
				評価日	H20.3.24
		外部評価	委員会評価	コメント	タウンミーティング（出前講座）を実施について、平成17年度よりその必要性が言われているのに取り組みが遅いように思われる。
				評価日	H20.3.27
A C T I O N	見直し・改善事項 （今後の課題）	平成20年度の状況にもよるが、メニューの拡充や変更など、要望にこたえる内容としていかなければならない。			

リフォームプランおよびアクションプラン進捗管理シート

P L A N	柱	5	住民参加		
	アクションプラン	2	積極的な情報の受発信及び共有		
	具体策	1	情報の提供		
		2	情報の収集		
		3	情報の共有		
	主管課	企画課		関連部局	
	実施済事項 (平成17・18年)	総合計画策定の際のパブリックコメントの徴集。			
	実施スケジュール	実施年度	実施内容(今後の重点取組目標・効果等)		具体取組(時期等)
		平成19年度	広報担当主任の任命 出前講座ガイドラインの策定 パブリックコメント制度化		広報担当主任の任命(6月) 出前講座ガイドラインの策定(9月) パブリックコメント制度化(12月)
	確認欄	主管課長	確認日	H19.5.12	【特記事項】(補足説明・用語説明)
主管部長		確認日	H19.5.14		
総務課		確認日	H19.6.8		
D O	実施内容	・広報担当主任については、平成19年度中に制度化し、平成20年度より各課1名ずつ任命していく予定。 ・出前講座については、5-1に記載のとおり要綱を制定して進める。 ・公聴機能の手段のひとつとしてパブリックコメントを位置づけるため、第一段階として住民参加事業関連の予算を計上した。			
	効果	(効果は平成20年度の状況を見てからとなります。)			
C H E C K	達成度検証欄	内部評価	本部員評価 主管部長評価	コメント	行政情報については、広報紙、TV、HPを効果的に活用し提供することができた。住民の行政への思いを把握するため、出前講座、ワークショップ、タウンミーティング等による説明や情報交換の場を多く持つよう取り組む必要がある。
				評価日	H20.3.24
		外部評価	委員会評価	コメント	出前講座もよいが、住民がプロジェクトプランナーとして取材や立案を提示し、住民の意見を行政の施策に取り入れる必要がある。
				評価日	H20.3.27
A C T I O N	見直し・改善事項 (今後の課題)	パブリックコメントは今後行う住民参加事業のなかの「協働のまちづくり事業」で位置づけていく。			

リフォームプランおよびアクションプラン進捗管理シート

P L A N	柱	5	住民参加			
	アクションプラン	3	幅広い世代の参画検討			
	具体策	1	住民参加のための環境づくり			
		2	各世代に応じた体験学習の充実			
	主管課	企画課		関連部局		
	実施済事項 (平成17・18年)	イベントアンケート共通フォームの作成と実施。 魅惑体験フェスティバル、各種団体のまちづくりイベントなどでは、積極的な広報を行った。				
	実施スケジュール	実施年度	実施内容(今後の重点取組目標・効果等)		具体取組(時期等)	
		平成19年度	各地で行われているまちおこしイベントやボランティアイベントを広報し、住民の方々にまちづくりに参加することについて感心を持ってもらう。 既に行っている「あらかしテレビ子どもレポーター」をはじめとして、各課において「住民参加」してもらえる取組の洗い出しを行う。		住民参加各課取り組みの洗い出し (10月ごろ)	
	確認欄	主管課長	確認日	H19.5.12	【特記事項】(補足説明・用語説明)	
		主管部長	確認日	H19.5.14		
総務課		確認日	H19.6.8			
D O	実施内容	「あらかしテレビ子どもレポーター」や「ちびっ子絵垣本座」におけるボランティアなどの活用をはじめとして、各種ボランティアの活用はできたが、洗い出しを行い新たな住民参加を生み出すことにまではいたらなかった。				
	効果	ボランティアの活用により経費の抑制につながっている。				
C H E C K	達成度検証欄	内部評価	本部員評価 主管部長評価	コメント	広報によりイベント等の周知はしているが、一部の事業を除いて住民参加が拡大していない。各課に取り組みの洗い出しを行い創出に向けて取り組む必要があるが、H20年度から協働のまちづくり事業を予定しているため、その事業の中で整理を行う必要がある。	
			評価日	H20.3.24		
		外部評価	委員会評価	コメント		
				評価日		
A C T I O N	見直し・改善事項 (今後の課題)	平成20年度から行おうとしている協働のまちづくり事業の中で実行していく。				